

令和5年度 第3回まちづくり審議会 議事概要

日時：2023年（令和5年）10月16日（月） 10時00分～12時00分

場所：市役所5階 第3会議室

出席者：9名

中西会長、杉田副会長、足立委員、古谷委員、矢島委員、三輪委員、
渡邊委員、關委員、岡川委員

事務局：石井部長、青柳次長、三澤課長、坂本副主幹、森主事

傍聴者：1名

1 開 会

10：00 中西会長より開会のあいさつがあった。

2 議 題

（1）逗子市まちづくり条例等の改正（諮問）

- ・市長より諮問書を手交し、意見聴取を行った。

【主な個別意見】

- ・協議会が発足し易いように規約のテンプレートなど立ち上げの支援があるとよい。
- ・地域自治協議会とまちづくり協議会は連携する必要があるため、地域コミュニティ組織との繋がりを考え、まちづくりを進めてほしい。
- ・行政主体の取り組みに対しても、市民意見を効果的にまとめるツールとして活用できる工夫を行ってほしい。

事務局の提案については、概ね了承された。

（2）その他（今後のまちづくりについて）

- ・三澤課長より、都市計画マスタープランにおける逗子市の将来像を実現するために、どのような課題があるかの意見聴取を行った。

【主な個別意見】

- ・緑地が少なくなっていることから、十分に緑地が確保できる住宅敷地の限度を確保したり、生垣などの緑を推奨するような政策を進めてほしい。
- ・高さや最低敷地などの様々な規制が多く、採算が合わず事業計画が進められない現状があることから、規制緩和を検討されたい。
- ・民間に対する規制だけでなく、行政が主体となる開発計画などを民間と一緒に進めていくような政策を進めてほしい。
- ・高齢者と若年が共存する住宅都市を目指すために、逗子のブランド価値を高めるようなブランディングを進めてほしい。

- ・災害に強いまちづくりを実現するため、ハード面とソフト面の両方からまちづくりを進めてもらいたい。
- ・海や風などの逗子の特徴が感じられるような住宅設計を誘導できるように、建築制限などにより、自然環境に配慮されたまちづくりができるような政策を進めてもらいたい。
- ・空き家が有効活用されるような政策を進めてもらいたい。

3 閉 会